

タイトル サービス保守事業部におけるリモートワークへの取組

リモート
アクセス

申請事業者：共立冷熱株式会社（宮崎市）
業 種：設備工事業

コンサル事業者：株式会社デンサン（宮崎市）
業 種：情報サービス・情報通信業



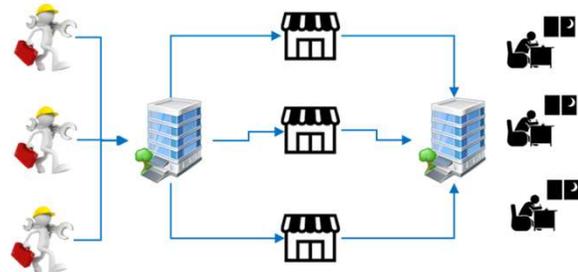
ポイント クラウド型システムの導入でテレワーク体制を構築！

取組の概要

導入部門：サービス保守事業部（13名体制）
導入業務：修理サービス対応業務（13名体制）
目的：アナログ作業からの脱却とテレワーク環境の構築
ツール：修理サービス対応管理システム
手法：修理サービス業務のシステムによる一元化・ペーパーレス化
規模：180件/月（受付2名・作業11名体制）
導入費用：1,932千円
（ソフトウェア購入・開発費 1,592千円：コンサル 340千円）

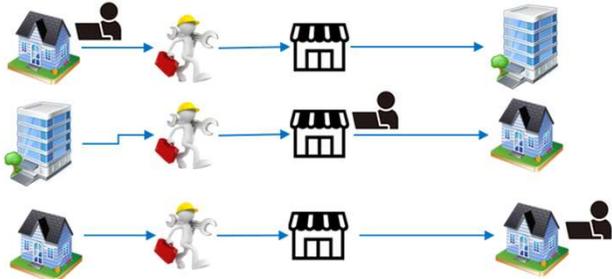
【導入前】

入荷進捗確認や
報告業務など、
必ず会社へ入社、
帰社しないと
業務完結しない
状態である



【導入後】

会社/自宅/修理
先など、どこからで
も入荷進捗確認
や報告業務が
可能な状態となる



取組の背景

・サービス保守事業の業務(受付～訪問結果～報告書～進捗管理等)において、紙媒体での運用が主となっており、出社必須の状況である。新型コロナウイルスの影響下において、リモート環境にて業務遂行できるようにしたい。

- ・各種業務のシステム化の推進
- ・クラウド環境での構築による、リモート対応
- ・更に、時短への取り組み強化にも繋げたい

取組の成果

- ・サービス保守事業部 13名の修理サービス業務において、「受付業務～修理訪問～その後の報告」を出社せずとも完結できる環境をクラウドサービスにて構築した。それにより、コロナ拡大時でも、13名が移動制限下において滞りなく業務が継続できる体制が構築できた。
- ・副産物として、訪問後の報告をペーパーに記入した後に管理シート(Excel)などに自分または事務員にて登録をしていたが、現場からのデータ入力が行える事で、2度入力や転記ミスなどの単純ミスの軽減を図ることが出来た。